

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
東区ふれあいマップ作成事業		東区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
区民や区外からの転入者に対し、区役所業務や緊急時の案内、区の地図情報、区内の観光名所などを提供し活用していただくことで、利便性の向上を図るため、情報発信ツールとして東区ふれあいマップを増刷し広く配布する。	東区役所の業務案内及び東区内の公共施設、観光名所、防災情報などの提供による利便性の向上。	配布部数	2,400	2,200	2,000
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	地域密着型のガイドマップとして、毎年最新の情報を提供し、東区の魅力の発信と区民の利便性の向上を目的とするものであるため、行政が行うべき事業である。	○	行政が主導となって作成しているが、表紙絵・題字・挿絵を地域の芸術家たちに制作していただいていることから協働性がある。	○	主要施設を掲載した区内全域の地図に加え、区内のイベントや見どころ、防災情報などを掲載するなど、東区独自の内容となっている。
○	区内のイベント情報や生活に必要な情報の掲載と、主要施設の位置情報を1冊にまとめた資料は同マップのみである。 また、表紙や題字の原画は地域の芸術家たちに無償で提供していただいている。				
⑤自立発展性	総合評価				
△	区内における最新情報の収集をはじめ、掲載内容の正確性や区内外への情報発信が必要であるため、当事業については行政の主導で作成すべきである。	○	生活に必要な情報から区内のイベント情報まで幅広く掲載しているため、同マップは転入者を中心に幅広く配付・活用されており、市政情報センターや他区からも補充依頼があることから、市民からのニーズは高い。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	区民にとって必要性の高いものであるため、今後も社会情勢や新施設の建設等の変化に応じ、掲載内容の情報更新を行っていく必要がある。 また、区内地図は建物の新設や名称変更などの変化があるが、資料調査と現地調査により最新の情報を提供できることから、引き続き行政で継続すべき事業である。				